

1. 件名：敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年11月1日（火）13時00分～14時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制管理官、野田企画調査官、海田主任安全審査官、
宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職

日本原子力発電株式会社 開発計画室：堀江常務執行役員、齋藤執行役員 他2名
同 発電管理室： 3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、お願いします。
0:00:03	いや、いや規制庁の前田ですけど、実質の審査もないとですね、江藤委員会で審査を再開する。
0:00:11	という形で判断
0:00:12	しましたので、2、どういう形で進めるのかっていう形でメンバーを組ませさせていただきました。
0:00:22	まず1回目の審査会后では、
0:00:31	まずは今回、
0:00:37	新城、新たな品証プログラムに基づいて、チェックをし直しているということなんですけどもそれによって、前に出てきているデータと、
0:00:48	どこがどういう形で変わったのか。
0:00:52	その変わったデータというのは元データ、いわゆる一次データのどこから、
0:00:58	引っ張っているのが元データと変わりがないんです。
0:01:03	と整合がとれてることを確認してます。
0:01:06	そこを、まずは1回きちんと説明をしていただきたいと思ってます。というのは、ベースのあるデータになるので、それに基づいて西井さん。
0:01:16	が成り立っていくんですけどもどこがどう変わっていてそれはどういう形で変わっていったそのデータってのはちゃんと一次データと整合がとれてるんですということについては1回、
0:01:28	聞き取りたいと。
0:01:30	会合って聞き取りたいと思ってます。その部分とあとは、当然検査でもって確認はしてますけれども、品証プラプログラム、
0:01:39	認証のシステムがどういう形になっていて
0:01:43	今、見直し形はどういう形になっていて、その中で十分なチェックなり、工期がないような形のチェックができていますと、現状の品証システム体系について、
0:01:54	説明いただきたい。この2点をまず説明をいただきたいというふうに思ってます。その上で、ベースとなるものがちゃんとできてるよねということ、
0:02:04	が確認できた上で審査を、実際の審査は行っていきましょうという形を考えてます。実際の審査はどこをやるのかということですけども、
0:02:16	前から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	お話しするように、まずは有識者会合で言われていること。
0:02:24	引っくりが静知見がえられてなければ、そもそもスタートできなくなるので、いわゆるK断層が乗り移って、耐震重要施設と、下に出ることが否定できないという、
0:02:38	簡潔に言うとそういう有識者会合の限界が出てるわけですけども、これは有力な知見として活用するって感じになってるので、それに対して御社として、新たにとったデータとかも含めて、それを、
0:02:51	覆すだけのデータと、ロジックが成立してるのかっていうことをまずはやっていきたいと。
0:02:57	いうふうに考えています。
0:03:00	この進め方については何か。
0:03:04	厳然としてのお考えなりはありますか。
0:03:14	江藤さん。
0:03:16	はい。
0:03:20	はい。審査の進め方に関しましてはですね。
0:03:24	先ほど、今言った、
0:03:27	すいません。
0:03:28	先ほどですね、穴井さんおっしゃった、
0:03:31	話した方がいいですか。いや、いや、名前を。原電の齋藤でございます。
0:03:37	審査の進め方につきましては、今道路、内藤管理官がおっしゃいましたような、K断層ですね、そちらの方、特に有識者会合で、
0:03:47	議論になったところですね、それに関して特に時計断層について、の地下まで虐待の仕方で繋がっているかとか、そこを審査していただくという事は、
0:04:00	以前ですね、
0:04:02	一昨年、
0:04:04	ですから昨年、一昨年ですかね、の審査会合でもそのように、私ども伺っておりますので、
0:04:12	そのつもりでですね、対応させていただきたいというふうに考えてございます。
0:04:17	また最初の審査会合で、品証システム、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:21	と、あとそうですねデータからの変更ですね、そちらの方をご説明するという点に関しても、現状としては異存ございません。はい。以上でございます。
0:04:37	はい。規制庁内藤です。はいありがとうございます。
0:04:41	じゃあどこが変わったのかっていう話。
0:04:45	ですけど、前に来審査会合で報告受けてるやつって、
0:04:51	か。
0:04:53	観察方法を薄片による変
0:04:57	で書き換えた場所が 80 ヶ所。
0:05:00	だけであとはその他シームの記載の会というところが 215 ヶ所。
0:05:07	その他は、破碎部が破碎部じゃなかったりとかいうか機能変更かけば 44 ヶ所。
0:05:16	D号機がその他もあって、全部で相当な数だったと思うんですけども、まずその過去数が変わったのは変わってない場合をまず明確にしても、
0:05:27	分け前前に報告した場合とか、
0:05:31	それで皆さんから、このケースありますと、いただいているけど中身のチェックは全然やってない状況なので、
0:05:38	じゃあ、今回の品証プログラムを改訂したことによって、全部チェックをかけた上で作り直したデータがあるはずなんですけれども、それについて、前に報告いただいているやつと、変わったのは変わってないのか。
0:05:52	ということでさっき言ったようにか。で、前に出ているデータと変わった箇所がどういう、どこがどういう形であってそれをデータをこっから引っ張ってきてるので、
0:06:02	変わって変わったという形にはなっているけれども元データに整合した形になってますっていうそういう説明だと思いますので、そこはちょっと手間かもしれないですけどそこをクリアにしないと、
0:06:14	前提条件のところ大丈夫かって話になっちゃいますのでそこはちょっと、
0:06:18	テーマだと思いますけど、作業していただいて、きちんと説明いただきたいと思います。
0:06:25	その時に注意していただきたいのは、品証システムでちゃんとチェックして、動きがないようにしてください。
0:06:32	これでまた間違いと初回のところで間違いと、もう後がないんです。本社。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:38	我々として御社に対応するあたって、新しい品証体制組み直してきちんと精査をできる体系ができたということでケースで確認はしましたけれども、
0:06:49	それ、そのて体系に基づいて出てきたものでまた誤記があるっていう話になっちゃうと、
0:06:54	もう我々としては何とも言いようがなくなっちゃいますので、そこは、あんまりお仕置きせずに、しっかりとチェックをして、資料を出していただきたいと思います。
0:07:04	念頭にあるスケジュール感としては、年内に1回会を開ければというふうに思っていますけれども、結構物流あると思いますので、
0:07:13	そこはしっかりとチェックをしながら、準備をしていただければと思います。そこはよろしいでしょうか。
0:07:30	はい。県連の開発計画書、神谷ですよろしくお願いします。
0:07:34	今、内藤さんの一番最初の発言の中に、何ヶ所何箇所というお話があったと思うんですけども、
0:07:42	おそらくそれは一昨年6月4日の審査会合ですね、柱状図書換え問題で、我々こういう、こういうことを過去あったという経緯とか、
0:07:53	柱状図の比較表であるとか、こういうことを整理したときの、審査会合でご説明した、資料での数値ですいろんな数え方があるので、いろんな数字が
0:08:06	あったと思ってます。
0:08:09	それで、そのあとに、10月30日のその次の審査会合があつてですね。
0:08:17	その時はまだその品証プロセスというか、審査資料の作成プロセスの話の検査の話もまだなかったもので、原因究明は検査でという段階だったので、
0:08:28	その段階で次の審査会合に向けて、やっぱりもう1回K断層の連続性からやりますというお話というコメントをいただいて、
0:08:40	それで当社ですね、新しい市場プロセスも含めて、準備を進めてきてございます。従ってですね、先ほどのいろんな数のうちのですね、現状今、
0:08:52	検査でもご確認いただいたというか準備をしてきたのか、K断層の連続性に関わる評価に関わる部分、までは今準備を整えてきてございますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:08	内藤管理官からお話いただいたその数のうちのこういう部分について今回は、こういうふうになってますっていう
0:09:15	範囲をですね、明確にした上でのご説明になろうかと思ってます。その後でまだ入ってない部分については、その次、古山昆今後そこまで含めて、トレーサビリティの確認をするっていう手順でですね今、
0:09:31	作業を進めていますので、今回はこの範囲ですと、K断層の連続性というところには審査いただけるという範囲について、というふうに準備を進めてきてございます。
0:09:44	そういう範囲を限定した形で、合意できる形で
0:09:50	説明資料を用意するのかなというふうにちょっととらえてございます。
0:10:00	等規制庁の相田ですけれども、そうすると、原電として、今回の改定をした身障プログラムに基づいて、
0:10:13	資料を見直させた範囲というのは、K断層の延長の部分だけであってその他の部分についてはまだ手がついてないってそういうことですか。
0:10:23	現在のカミヤでした。今後やっていくということにしています。
0:10:29	はい。
0:10:35	説明ですけどそれってどのぐらいのスケジュールから考えられますというのは、今回の柱状図の記載も含めて考えたときに、
0:10:47	申請書等の記載とも違っているという状況の中で、本来であれば、申請書を大きい。
0:10:56	全体として綺麗になった形でスタートっていうのが本来望むべき姿ではあるんですけれども、そういうところまではまだ手が届いていないということですか。
0:11:09	はい、原電の神谷です。そうですね準備とか作業も全く進めてないわけじゃないですけども、そこまでは、まだ準備は整ってません。
0:11:22	わかりました。じゃ、そこは事実関係としてね、どういう形で、どこまでチェックができていて、今後の進め方、
0:11:33	事業者ってか原電として、どういうスケジュール感でどういうところまでをチェックかけるのかというスケジュール感を出していただけますか。その上でないと議論ができないと思いますので、
0:11:46	そういう形で資料をまず用意いただけますか。
0:11:51	はい。全然カミヤですけど、スケジュール感というのも、次の面談と
0:11:57	あれですかね、まずはそこまで。
0:12:00	という、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:01	ことでよろしいでしょう。
0:12:03	んとね、次の面談というかも、次はヒアリングという形で、審査会合の資料の確認という位置付けでやりたいと思いますので、その上で出てきた資料に基づいて、会合で議論をする。
0:12:17	こういう形になりますので、そういう形でお願いしたいんですけども。
0:12:23	現在、カミヤですけど次のヒアリングまでですね、
0:12:28	今後のスケジュール、もちろんこれ1回審査会合をやってコメントが出てとか、いろんな話があると思うんですけど我々の思い描く
0:12:36	スケジュールという形で説明できるようにですね、準備をしたいと思います。
0:12:48	全体の枠はそれでいい。
0:12:51	規制庁小野田ですけど、今のやりとりで少し幾つか確認させていただければと思うんですけど、まず
0:12:59	先ほど菅家の方からも、スケジュール感っていう話があって、
0:13:04	まず一つ目は、このK断層の連続性に関するところは、本社も準備できてるっていうことですけど、
0:13:12	具体的にはヒアリング、いつごろ対応できそうか、確認させてもらっていいですか。
0:13:24	原電の神谷ですけども、
0:13:26	K断層の連続性の審査をしていただくための、
0:13:32	いわゆる審査会合でお出しする資料という意味ではですね。
0:13:37	それ検査の時にそういうものをご確認いただくっていう形で準備をしてくているので、
0:13:43	我々がこれまで考えてきたものということでヒアリングができる準備は、
0:13:50	すでに整ってはいます。
0:13:56	祖母すいません。規制庁野田ですけど、ちょっとすいません私の聞き方が、簡略化して聞いてしまったんで恐縮なんですけど、それ柱状図の変更に関わる、先ほど冒頭に、
0:14:09	管理課の方からその変更箇所があって、その変更箇所の記載がどういふうにその変遷があったかっていうところを出してくださいっていう話をさせていただいたんですけど、それに対して、御社は、今全体は整理ができていないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:24	できているのは、K断層の連続性に関わる柱状図で、その他のところは、今作業中で準備ができてないというふうなご説明だったと思うんで、まずここは私の理解で間違いありますか。
0:14:39	原電の神谷ですけども、ちょっとお互いが理解し合えるように、ボーリング柱状図ということに関して、あえてその代表的に申し上げますとですね、
0:14:50	審査が中断した、2年2月7日の特別に自主的に掛け問題をご指摘いただいた時に、ある時までにはボーリング柱状図としてお出ししていたものが、68孔のボーリング柱状図。
0:15:07	をお出ししてございました。
0:15:11	それで、現在ですね、
0:15:15	K断層の連続性について審査をいただくために、下については、ボーリングの柱状図としては
0:15:24	時計断層の南方延長と原子炉建屋の間にある10行ですね、10本分、
0:15:30	に関して、整えています。
0:15:33	それだけで審査ができるというものではないので当然B湾トレンチに関わる、K断層の分布であるとか、
0:15:41	その柱状図からその何ていうか下流側に流れていく、その肉眼観察であるとか薄片観察であるとか、そういう形のデータセット。
0:15:51	それと説明資料という形で現在は整えているという意味でございます。
0:15:59	ごめんなさい。
0:16:01	ちょっと多分話がかみ合っていないのかなと思っているんですけど、冒頭に管理官からお話させていただいた通り、我々はまず、そのK断層の連続性の評価に関わるどころではなくて、
0:16:16	その評価の前提として、これまでのボーリング柱状図の記載の変更であったり、深部とか破碎部とか誤記とかいう話が、要するに
0:16:27	さっき神谷さんが6月へ令和2年の多分6月4日の話をされたと思うんですけど、
0:16:33	そういうことがあったので、まずはそういう
0:16:38	変更箇所、
0:16:39	であったり、そういう見直しであったり、そういったところの前提条件となるところが、どう変わったのか、あとはそれ以降に変わったところがあるのかなのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:51	そういうところをまず確認したいんで、別に我々、初回会合から、いきなりそのK断層の連続性の評価について、確認とか、議論はするつもりはないんですけど、
0:17:07	規制じゃないですけど多分、こちらの言い方が悪かったと思うんですけど、まずは審査分、実際の審査に入る前に、今回の総点検において費消プログラムを見直したことによって、
0:17:21	いわゆる審査の机上配付資料なりの柱状図なりそういったところでどう変わったのかというところを、
0:17:30	ここにきちんとまず説明していただきたいと。それが第1回の17日以後になります。K断層の連続性の議論という話ではなくて、
0:17:39	ベースとなるデータセット。
0:17:43	がどう変わったのか。
0:17:46	その変わった内容というのは、きちんといわゆる一次データ、生データに基づいたものであってそこ遜色がないもので出ている。
0:17:58	作られているのかということをもっと説明いただきたいということなので、それについての、今は先ほどの議論で、K断層に関わる部分、西はチェックは終わってるけどそれ以外は終わっていないという話だったので、
0:18:16	じゃあ、終わった部分でいいから出してくださいと、で終わってない部分についてはスケジュール感も含めてどういうふうにやっていくのかっていうのを説明してくださいっていう資料作ってください。
0:18:27	その前半の部分のK断層に関係する一次データっていうか、ベースあるデータセットを説明。
0:18:35	資料として作ってヒアリングに持ち込むのにどのくらいの時間がかかりますか、っていうことを聞いている。
0:18:45	現在のカミヤですけども、我々なりにですね、ちょうど1年、
0:18:53	数ヶ月前にヒアリングなりを1回していただいた時、
0:18:59	から、データがその時もK断層の連続性についてまとめていた資料なので、そこからどう変わったかっていう資料は我々なりに今もう整理はしてます。
0:19:11	或いは最後の実質的な審査会合とか柱状図の指摘を受けたのがその令和2年の2月7日でしたので、そこからどういうふうに、どういう場所が変わってましたかっていう、
0:19:23	資料は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:26	机上配付資料というか、我々補足説明資料という名前つけましたけども、
0:19:33	我々なりに用意しているものは今ございます。
0:19:39	ただそれで、ちょっと今言われてるニーズ。
0:19:42	申請の時から、
0:19:44	とかっていう形では今用意はしてませんし、そこのニーズが、
0:19:49	そういう形まで今できてるといふ。
0:19:52	ことかどうかってのはちょっと議論の余地があるのかなと思ったんですけども。
0:20:01	どう、
0:20:04	基本は、当市内に出した資料として、どういう編成をたどってきているんだけれども、今野末新書プログラムに基づいてしっかりとしたデータの検証を行った結果として、これ、いう形になって、
0:20:22	これはもう、間違いのない一次データに基づくものですよって説明をしていただきたいんですよ。
0:20:32	それで、それはこういう品証体制でこういうチェック体制でやっているんで、問題がないし、体制としても問題がないし、実際に一次データとの比較はちゃんとやっていて、
0:20:44	一次データと変わるものではないということまで確認できていることです。
0:20:48	ということの説明いただきたいんですよ。
0:20:53	現在のカミヤですけども、ここにいる原典の人間がほとんどその中身を共通理解として持っているんで、
0:21:01	今の
0:21:03	準備ができてるっていうことで、
0:21:06	よろしいですかね。
0:21:07	うちそれでもわかりわかりにくいとか、
0:21:11	ちょっと十分じゃない。
0:21:13	変更箇所、十分じゃないとか、
0:21:15	そういうのはあるかもしれないですけど、
0:21:19	原電の齋藤でございますけれども、
0:21:22	カミヤが申し上げてるのは、その形ダンスの連続性と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:27	いうものにそういうテーマでもって、これまでも検査の中で、資料を見ていただけてきましたし、それについてはもうお出しできる準備ができると。
0:21:39	その中で、変更点だとか、そういったものもご説明できるようになる。
0:21:44	ような話をしていると、いうことなんですけれども、一方で、内藤管理官がですね、先ほどおっしゃったところは、1回目野田さんおっしゃったところは、1回目のヒアリングで、
0:21:58	システムだとか、変更点だとか或いはデータも変わったところですね、その元データから含めた妥当性だと。
0:22:08	その資料は、いつできるのかというふうにおっしゃってるってことですよ。ですから、それがもし仮にクリアできたとして、
0:22:18	その2回目にK断層の審議を審査をしていただけるような形になったときに、お出しする資料というのは、我々できてるつもりで社内的にはそれは整えてきたつもりなんですけれども、
0:22:32	その1回目の資料がいつできるかというそういうご質問というふうに理解すればよろしいでしょうか。はい。はい。わかりました。だから神谷さんすみませんちょっと社内的で申し訳ないんですけど、
0:22:42	そういう意味で、その品証であれば、衛藤シマダさんに聞いた方がいいんだと思いますし、或いはその変更点の妥当性だとかっていう意味で若宮さんにちょっと答えていただいてもいいかなと思いますけども、どうですかね。
0:22:55	はい。上出さん、ちょっと私自身は今その1回目っていうところのどういう資料のイメージかっていうか、
0:23:01	ちょっとできてないので、すみません。
0:23:13	原電の嶋田でございます。発電管理室の方で、品質保証の
0:23:19	お願いいたします。
0:23:20	今、ガーッと話して参りますと、
0:23:24	元となるいわゆる一次データになってたものは変わってません。そこから、こういうふうにしたので、2月7日の審査会合で、
0:23:36	ご指摘を受けて、不応受を受けましたと。その時はこういうやり方でやっておりましたってこと弊社の立場から言うのですね、現在は同じ元となるデータから、このようにやってきたので、でき上がりがこう変わっておりますってその比較をお示しするというふうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:55	理解したんですけれども。
0:23:57	その品の証の仕組みの違いはお示しするようにいたします。
0:24:02	で、グッ具体的ちょっと私、すべてのデータが全くじゃないんであれですけども2月7日の審査会合の時点でその机上に積んでいた。
0:24:12	すべてのデータ時期柱状ですかね、ポーリング柱状図に関して、ここがこういうふうにならなっている。
0:24:22	で、それがどのような設定の我々の示す、このような手続きでこう変わりましたというところをまずお示しするところから開始と、そういうことでよろしかったでしょうか。
0:24:39	C T Oの野田ですけど。
0:24:41	さっき赤木さんが6月4日の令和2年6月4日の審査会合の話があったかと思うんですけど、あのときに多分一部総点検の結果として、
0:24:51	ちょっと具体的に申し上げると、柱状図について変更があったのかなかったのかそれは、具体的に変わって意味でいうと、委託調査会社からの委託報告書があって、申請書があって、審査会合があったり、またその委託調査、
0:25:07	会社の報告書があって、審査会合資料ってこういう形で、1回出してもらってると思うんですけど、その最終形がどうなってるのかっていうことでしょう簡単に言うと、
0:25:20	それはごめんなさい、プロセスじゃなくてその柱状図の方の変わっていう、変更箇所とその変わ、あとはその最終形っていう、
0:25:28	ことなんですけど、
0:25:30	その点はいかがですか。
0:25:33	派遣でシマダでございます。そうしますと、6月4日にお話した6連比較表というんですかね。物があつた比較表があつて、現在はさらに事案別のものをこれから作る米が作っているものがある。
0:25:47	その6年比較表までの、
0:25:49	変わこのように作ってこうなりましたっていうご説明と、
0:25:53	新たに作るのはその一番こっち側の元となるデータが、一次データがそこから始まって、
0:26:01	こういうやり方でやったのでこのように変わりましたっていうところをお示しする形っていうことででしょうかね。6月4日の6連携を、
0:26:10	を起点といいますか、そこからどう変わったのかっていう、そこで数字なんかを、そこで幾つかあつたところがどう変わったっていうところ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:19	5000社買ったってよろしいでしょうか。
0:26:22	ちょっと起点がですね、2月7日の7日、6月4日にもうすでにお示ししているものからなのか。
0:26:30	その辺があれか、少し、
0:26:33	やってるところなんじゃないかなと思います。
0:26:40	規制庁内藤ですけども、6月4日のやつを基点にしても、あんまり意味がないと思っていて、というのは6月4日も古い品証体制のもとでやっているものであって、見直したものの。
0:26:54	でちゃんと間違いなくトレースできて
0:26:59	データは一次データをしっかり持ってきているし、複数あるデータがあった場合については、そのうちの一つを採用するのであればそれぞれについてどう考えているからこれを採用しますということが、
0:27:12	きちんとできる、
0:27:15	ルール作り、
0:27:16	をしてくださいねと。それが審査を行う上で最低限のところですよということで、それに基づいてちゃんとルールができていますかということについては検査で見たという形になってます。
0:27:29	で、その、その検査の中で、それを確認する過程において見た資料。
0:27:35	が妥当かどうかというのは検査では、明確に判断していない状況になっていて、あくまでもそれをベースに検査をした結果として、
0:27:46	心象システムとして、その審査の前提となる二つの条件についてはルールができていてきちんとできているという判断をしましたっていうのが結論なので、
0:27:56	その過程の趣旨資料がちゃんとできてるかどうかについては検査結果の中では触れてないんですよ。
0:28:03	なので、あくまでも、今、ちゃんとできるような体制としてできましたという品証のもとで、
0:28:12	見直した、C3の全体のDた
0:28:18	種になるのかな。机上配付資料が、御社が使える、それがちゃんと今まではこういう編成をしてきているんだけど、今回の体制のもとでちゃんと見直した結果としてはこうなっていて、
0:28:32	これはちゃんと一次データとの整合ができているということを確認したものですという説明をしていただきたい。だから、品証としては今まではこういう飛翔でしたと今回の品質を攻撃印象で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:43	今までこういうところがだ、駄目だったと考えた上で自分たちで新たに作り直して、事業人と他事業者さんのレビューを受けたと聞いてますのでそれを踏まえた上でこういう形の品種をしていますっていうヒンショウがこうなりましたっていう話と、
0:28:59	それに基づいてやったつくった資料の結果として、今こうなってます。今までこういう編集してきたんだけどこうなっていて、これについてはちゃんとチェックをしてやって、一次データと少ないことを確認しています。
0:29:12	ていうその二つ大きく分けるとその二つの資料と思ってるんですけども、
0:29:18	イメージは、
0:29:20	わかりましたか。
0:29:24	現在島野でございます。
0:29:26	そうしますと、最終的にでき上がったものの、
0:29:31	ものが、その一次データから作られてこの過程で、いろいろ確認とかですねするようになったんですけども、そこをお見せする必要はなくて、でき上がったもの。
0:29:43	をご覧ください。
0:29:45	システムの方は品証をご説明するとそういうイメージですか。
0:29:49	既設全くないし、いいと思う。
0:29:52	今までの編成がこうなりましたということと最後の仕上がりはこうなってますと。で、その仕上がりで使ってるデータは一次データのこれと一緒にだから、ちゃんとしたものです。
0:30:03	という説明。
0:30:05	だから、こういうヒンショウずこういうチェックをしてるからっていう話は、品証側の方でやってもらえばよくって、レデータセットとしてノセ説明の方については、最後のデータを行っていて、これは、
0:30:19	元データも、どれが元データでということを示した上でここでこう書いてあって、同じだから、問題がないというものですっていうそういう説明だと思えます。
0:30:37	えっと、元のカミヤですけども、
0:30:40	桑原が用意している、審査資料を作る上で、ちょっと具体的に柱状図に関して言いますと、
0:30:51	1事例た基となるデータということで、コア観察カードがあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:56	で、
0:30:58	コア観察カードに基づいて、今回新たに報告書柱状図ですね、幾らか観察結果をそのまま記載するようにと、要求事項も役にして作るっていう、
0:31:10	報告書柱状図があります。
0:31:13	そこから
0:31:17	ちょっと細かく言うと技術設計資料の柱状図があって審査資料としての柱状図、これもほとイコールなんですけど、こういうステップがあります。
0:31:27	元となるデータでコア観察カードの二階の観察結果が全部この柱状図に反映されているとか、一部コア観察カードで足りてない記載を今回追求してるとかっていうところもあるので、
0:31:40	そこは、柱状図とコア観察カードの差がこうなってますっていうのが、わかるような資料を、を用意してます。
0:31:52	そういうものを、が今用意できてるものなので、
0:31:56	す。そういうものなのか、それとも何かこう、
0:31:59	比較でこうわかるようになっていう、
0:32:02	ことなのか。
0:32:09	社長、内藤ですけども。
0:32:11	物を見てないから何とも言えないんですけど、そうですね。ですけど、今聞いててわかったのはコア観察カードに内臓方についても再観察なり何かをやった結果として、追記がされているというふうに受け取ったんですけど。
0:32:26	そうであれば、じゃあその追求する事データってどれですか。
0:32:31	だから、コア観察カードとコア引き上げたときのデータ観察記録ですと、そのあとの観察記録ですと、それ、それぞれが一次データなっていて、
0:32:44	それに足し合わせた形でこういう形が今の一次データに基づく柱状です。
0:32:54	という形で示してもらってことだと思います。
0:32:57	今の姿としてなんですよね。その前に今までこういう編成ありますけどとくつつくんだけど、
0:33:10	これだけ膨大な作業、
0:33:15	全然載せてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:17	野瀬でございます。
0:33:18	ちょっと確認なんですけど、
0:33:21	対象としては、
0:33:25	変更になった。
0:33:27	過去出してるものから、数値とかが例えば変更になったものだけを言ってるのかそれとも、今回出そうと思ってるDた。
0:33:35	一つ一つに対して、
0:33:37	一井データというか、元がこれで、それがそのままきてますよっていう。
0:33:44	示し示すのかっていうと、
0:33:50	規制庁の方ですけども、だから、今作って今の品証課で作ったものが、一次データとソーラーないものでという形でできているはずですので、それと、前のやつで違うのであればそれ変更かかっているわけですから、そこは全部ですよ。
0:34:06	変更がある箇所ですよ。はい。うん。
0:34:09	変更のない箇所は、前に出していたもので、今、今まで出たものは古い身障体制でやっていて、水なり、トイチデータと違うが来ないと。
0:34:21	がいろいろ入ったりとかしているものを、
0:34:24	であったということではないので、
0:34:27	今回、納品書体系下で作ったものが一次データと遜色がなく上書きとかそういうことなしでやってるものですから、今回のやつを正としたときに、
0:34:37	どこが変わったんですかって前のものと、その変わった内容ってのはちゃんと一次データと比較をして、問題がないように、一次データこれだけどこ書いてあるものがそのまま書いてありますよねっていう形で示してください。
0:34:52	はい。変わったところ、
0:34:54	もう一つ変遷っておっしゃったんですけど、
0:34:58	柱状ですと、申請時からって話があったんですけど、他のセンターもそういう申請時から
0:35:05	何か変わったそれもずっと変遷がわかるようにっていうことをおっしゃっつ。
0:35:10	だってこと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:15	それとも他に、最新に出てる最後に出したものに対しての、
0:35:21	比較というか、
0:35:24	イガラシ、きちっとノダ他のデータって具体的に何を言われてますか。 例えば変センスですとか、
0:35:32	破碎幅ですとか、そういう
0:35:35	破碎部性状と言われてる。
0:35:38	データなんですけど、
0:35:41	それは、6月4日のサポートに管理課の方から、4項目お伝えした中に 含まれてるものですか。
0:35:49	それ、
0:35:52	には入っておりません。
0:35:55	なるほど。それ、その対象だけでよろしかったんですかね薄片で変わ ったところとシームと破碎幅が、破碎じゃなくなったとか、最初におっ しゃった項目でっていう。
0:36:08	対象だったんでしょうか。
0:36:10	既設のやつですけど。
0:36:12	念頭にあるのはね、まずは前にやったやつ。
0:36:17	んがあって、それで今回はちゃんとした品証体系でしっかりしたものを 作りましてって感じになるので、そうしたときに、前と、
0:36:27	どういうものについて、どのくらいの数が変わってるのかっていうそれ をまず明確にしたいんですよ我々としては、
0:36:35	これだけの数を見直して、それぞれについてちゃんとチェックをして あって、一次データが引っ張ってきているということが確認と取れる ので、審査の前提として、言った品証体系に基づいた資料として出てき たものが、
0:36:50	ちゃんと使えますよねっていうのをまず確定させたんですよ。
0:36:54	それが、検査でスキームとしての部分についてはできてるって話ありま すけど、ただ審査として見ればスキームできてるのはわかったから審査 再開するけれども、そのスキームに基づいて出てきたものがしっかりし たものですねって確認をしないと、中身の議論はできないと思う。
0:37:11	なので、まずはどこがどう変わってちゃんとしたものなんですというこ との説明をしていただきたいと。
0:37:18	それが終わった後に、じゃあそれを使った上で、K断層、
0:37:22	それが整備が終わって、大丈夫ですねという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:26	我々の感触なり石渡先生の感触があった上で、K断層の連続性というところについてはそれらデータ使った件等、
0:37:36	皆さんの物証に基づいた説明っていうのが始まる書いた資料が出てくるわけだけど、それは、元のデータのやつがちゃんとできてますねというのを確認した後に始めるというそういうことです。
0:37:54	石渡先生が会合でも厳しくやりますって言っているのはそういう意味です。
0:38:08	きちんとノダですけどノセちょっと1点確認させて欲しい。さっきの長谷部正常というのは、冒頭にちょっと例示的に6月、令和2年6月4日のところをお話したんですけど、その前に繊維状の、
0:38:21	変更があったかと思うんですけど、そこに含まれているものの話をされてるのか、それ以外の話をされてるのか、ちょっと今管理課からの全体像っていう話があったんですけど、ちょっと全体像と、今野瀬さんが言われたその破砕部性状のその変更っていうところの関係が、
0:38:37	すいません私見えないんで、ちょっと確認させてもらっていいですか。
0:38:41	野瀬です。6月4日とか、2月7日以降でやったのは、柱状図に結構絞ってやられたんですけど。
0:38:52	その前2月7日とかそれ以降の、それ以前の審査資料に出てくるデータとしましては、柱状図だけじゃなくて、そこで、
0:39:02	使う破砕部に、が持つ情報っていうものをまとめた性状一覧表とかって、出してまして、その中に
0:39:11	破砕部ガウチの幅ですとか、
0:39:16	明瞭なせん断変形構造ですとかあと変位センスですとかそういうデータをずっとこう、
0:39:22	一覧表にしたものがありまして、そういう情報を使って、例えば、K断層の連続するかないかという検討をしたりとか、としています。
0:39:33	今回も10本、
0:39:36	警察の連続性評価するときに、10本をやるんですけど、そこに含まれている破砕部の数分だけ、同じようにそのデータをとって、
0:39:46	性状一覧表みたいに、表にして、整理をして、
0:39:52	います。
0:39:53	なので、
0:39:56	先ほど最初伺ったときに、変更がある、
0:40:01	変更があったものについてはそういうの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:04	位置データを示しながら、説明するっておっしゃったので、
0:40:09	大体 100 ヶ所ぐらいあるんですけど、
0:40:13	100 ヶ所っていうのは破碎部の数が 100 ヶ所で、それ掛ける破碎でも、
0:40:18	ちょっと性状が、
0:40:20	データがあるんですけど、
0:40:23	それ、それを、それがトータルでいうと、データ数、今回使うデータ数になってまして、それに対して、以前出したものから変更があったノダ系に対して、
0:40:38	1 Day たこう変わったから、今回、こういうふうに見直しましたっていう説明資料を、
0:40:43	作るのかなって、ちょっと思った次第な。
0:40:47	です。
0:40:56	データとかそのデータから最終的なペーパーですね。
0:41:00	んとね。だから、
0:41:02	我々が欲しいのは、説明していただきたいのは、今、もう品証体系で作ったもの。
0:41:11	がこうなっているんだけど、前はこうなっていた。
0:41:15	だけど、そこはこういうふう在一次データの比較をした上で直ってます。
0:41:23	という説明をして欲しいんですよ端的に言うとね。
0:41:25	そうすると今までと、今のデータと前のデータ出てるやつで、変わるところがあれば当然変わってますと、何で変わったのかっていうと一次データがこうなっていて前のやつは 1 出たところ違っていたので、
0:41:37	今のやつを一次データと比較した、違うない引き下げなってるから、今のやつは問題がないんですっていうそういう説明なんですよ。だから、今、今の体系化で作った。
0:41:48	資料という資料とか、何だベースのデータについては、
0:41:53	問題がなく作りこめてますというのをまず説明いただいて、
0:41:58	それができてるっていうのが、具体的な紙系断層の連続性とかの議論に入る。
0:42:06	前提条件だと思ってます。で、それが前提条件としてできているということを確認したからじゃあその、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:12	今のデータセットに基づく、解釈なりというところについては、そこは解釈がどうなのかってのはまた別の議論になるので、そこはそれとして審査の中でしっかり、
0:42:24	別途見ていきましょうということだと思う。
0:42:31	あくまでも、今、作ったデータセットというのがこういうもので、それは、昔とはこういう形で変わってるんだけどこれは変わったことによって正しいものになってるんです。
0:42:42	ていう説明を、編成も含めた形でちゃんと説明してくればいい。
0:42:48	だから、なぜ平成がいるかっていうと、じゃあ、今まで言ってる数字って、これこういう動きなりね、鍵。
0:42:57	替え書き換えか上書きがありましたとかっていう話がいろいろあった中で、
0:43:04	スタートとしては 1000 ヶ所以上の間違いとかがいろいろあった上で上書きをしてますねということだから、我々としては審査のところに出てくる元データっていうか、ベースデータとしての部分に信頼性がないから視察とかしたわけですよ。
0:43:17	そこがちゃんとできているんですけどっていう説明をまずしてもらいたい。
0:43:21	で、できた、今作ったやつについては前のやつとは、ちゃんを見直した結果として、どのぐらいの数が、修正がかかったのかってのはそれもきちんと公にしてもらいたい。
0:43:38	だからそれは、ととらえ、我々ととらえ方と皆さん誰か違うのかもしれないけど、
0:43:45	ネガティブなとらえ方するとこんなに。
0:43:48	数があったのかだけれども、
0:43:51	ちゃんとやることによってこんだけのものを修正かけてちゃんとしたものにしました。
0:43:56	我々はそういう説明をして欲しいんですよ。
0:43:59	後者の説明。
0:44:11	ちょっとしつこいですが、年齢の農政です。もう 1 回限りで変数やっぱり変遷が必要で、編成っていうのは、やっぱり申請。
0:44:21	処置から、
0:44:22	野中。
0:44:24	室岡清主事。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:27	新生児科審査資料として出してることの中で編成してるものがあるわけですよ。
0:44:33	何か今考えたのとは変わってないんだけど、変わってないものもあるし、だから、今のあるやつについて、1個前の時は、あとは変わってるのはまず骨格ですよ。
0:44:44	1個前のものに、が変わって、
0:44:47	1個前のものでは変わってないんだけどその前で変わったものってのもあるわけですよ。
0:44:53	だからそういうのも、今あるやつと、過去に出た資料とのところで、変わってるところはどこなのかってのはまず明確にして欲しい。
0:45:02	1個前だけじゃなくて、
0:45:06	いやだから、そそうしないと。
0:45:09	刀禰、この資料。
0:45:12	でこう書いてるじゃないかって議論が起こりかねないので、そこは全部つぶしたにします。
0:45:18	前の資料はこうなってるんだけど、1個前だってその前のやつでこうなってるんだけど、
0:45:23	今の資料が、こういう考え方で整理をして、きちんと一次データとか整合とれてるものだから、今の資料だけを見ればいいんですよという形で、まずは、
0:45:33	セットしたいんですよ、伊勢にセットというか、
0:45:36	過去の資料はみてもしょうがないんですよってことをまずは明確にしたいんですよ。
0:45:44	現在シマダでございますありがとうございます。今の変遷の話は、
0:45:50	だんだんこう変わっていくところについて、このデータ、一つ一つのデータについてこのデータはこういうふうに考えてこうだからこう変わりましたっていうのを1個1個明らかにするというよりは、
0:46:01	ここからここに変わっていくときには考え方がこうだったので、
0:46:04	データ全体について、ここ、このような考え方で効果を見ました。
0:46:09	次はこう考えて、別のデータ入ってきたので、このように変わりましたっていう、その変遷については1個1個松下の御説明よりは、どうして、どういう考え方で、
0:46:20	そういうふうに、
0:46:22	変更がかかったのかっていうところを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:25	ご説明していくような形かなと思うんですけども、6年表も同じ中で下の方に、そうですね、どうしてかっていうところは、全体で書いてある。
0:46:34	ですけど、
0:46:40	うん。あのねどこまで詳しく書くかは、すごい原燃さんの判断だと思うんだけど、
0:46:46	少なくとも、今のやつについては、一次データと、
0:46:50	違いがないことを確認していて、前のやつはこうあったけどごめんなさいこの時は品証いい加減でしたってでもいいけどさ。
0:46:57	チェックが1着がちゃんとできてませんでしたけどいいんだけど、
0:47:02	今のやつがきちんとできてるんです。
0:47:05	というのがまずベース。
0:47:07	一次データと比較してね、その上で、これは今のやつが正になるんだけども前のやつとは違ってきますとだから、前のやつはこういうところが違ってらんで、前のやつ見てもしょうがないんです。
0:47:19	というチケット等しいです。今の資料を、今の品証課で作った資料。
0:47:23	だけを見ればいいんです。
0:47:25	ということがわかるような、
0:47:27	説明して欲しい。
0:47:30	リセットかけないとどうしようもないので、
0:47:33	はい。よろしいですか現場の斎藤ですけども、今のやりとりですね特に内藤管理官のお話を伺っていると、やはり大事なのはやっぱり今の強い今の資料が、この元Dた。
0:47:47	に対してどうなのかと。
0:47:48	ていうところは、それに対してちゃんと線が取れて、今の資料を見ればちゃんと審査の審査をいただけると、正しく審査をいただけるとということがやっぱり重要なのであって、
0:48:00	あまりこの変遷とかって言葉自身にはそれほどこだわらなくていいのかなというふうに私自身は思ったんですけども、私、私も今までこれ新紙をですね、検査を受けながら、
0:48:12	資料の作成をしてきてますけれどもそれは、去年一昨年2月だとか、或いは去年の夏でしたっけ。夏ぐらい、ヒアリングでお出したもの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:23	そういったところから、どういう変更していくかってことは、正しく変更管理をしてるんですけども、ただそれよりはそこまでも含めてそこからどう変わったかっていうところと、あと今の資料、今のデータが、
0:48:39	手元にあるデータに比べて、確かにその通りであるというところをきちんとお示しするというふうに、整理させていただければというふうに思っておりますが、
0:48:49	あともう一つ一つですね付け加えさせていただくと先ほど三田さんですね、ご質問に対して、ちょっと補足すると、我々今回の検査を受ける
0:49:01	過程ですねやはり元データとなぜっていうことをきちんと整理しまして、例えば柱状図にに関して言えばコア観察カードですよとかですね。
0:49:11	或いはその先ほどあった遷移センスだとか、或いは薄片の観察試料だとかそういったものとデータこれですよっていうところまでさかのぼって、要は柱状図以外にもいろんなものを構成してきましたので、
0:49:23	一次データ元データになるものですね、そこに関して例えば先ほどで変位センスだとか走向傾斜とか、そういったものを含めて、元データとの間違い、或いは間違いものは違いですよ。
0:49:35	あその先生と確認してますんで、そういった資料をお出しできるかなと思ってますけども。はい。すいません。
0:49:44	学長あれですけど、だからね、
0:49:46	繰り返しになるけれども、今のデータが、まずはきちんとできているんです一次データと比較をしても、変わってないですよっていうのをまず示してもらおう。
0:49:56	はい。
0:49:58	寝てて、それはどこに着目するかっていうと関わってる過去の資料から変わっているもの。
0:50:05	それはどういうふうに変わっていますと、だけどね、変わったのは、だって一次データとチェックをした結果として変わったということだから、それで完結してるはずなんですよ。
0:50:17	ただ、今までの資料からは、こういうところが変わってますってのは出さないと。
0:50:22	リセットにならないので、
0:50:25	前の資料ではこう書いてあったとか議論が起こっちゃうから、そこはまず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:30	1回の最初の説明とそこは打ち消したいんですよ。
0:50:34	ちゃんとした資料が今できているので、過去にこういうふうを書いてあったのももうちゃんと含めて変わって、ちゃんとその部分については適正化したデータ。
0:50:45	セットでできてるんですけどっていうのをまずきちんと説明してもらいたい。
0:50:53	何回も繰り返してるから、何となくわかったと思うんですけども、
0:50:59	それが、我々はね、データセット等説明資料と、
0:51:04	説明資料はデータセットに基づいてやってるわけなんだけどそのデータセットが信用できないからってシースは止めたわけですよ。
0:51:11	だからそのデータセットがきちんとできてますっていうのをまずきちんとまず説明してもらって、
0:51:16	だから審査の具体的な審査に入ってきましたよね。
0:51:22	その中で、当然、対外的には、今までの資料から、今回のデータセットをやることによって、今までもから、どういうところについて、何ヶ所変わってるんです。
0:51:34	いうのも、
0:51:35	セットで出さないと。
0:51:39	収まらないからね。
0:51:41	我々も対応設備するときにはどのぐらい変わって、今のはちゃんとセットした時説明聞いて確認したということだけれども、結果としてどのぐらい変わったんですかと。
0:51:54	話は絶対ついてくるのでそこはちゃんと明確にして欲しい。
0:51:57	で、その部分についてはネガティブというか、そうじゃないという言い方をするかって話なんだけど、我々はちゃんとしたことを作ることによってこんだけの修正がかかってるんだから、今の資料は使えるんですけど説明してもらって、
0:52:20	よろしいですか。
0:52:21	ちょっと最初の質問に戻ったら、いつどれぐらいで準備できますかっていう質問そうですねと答えられます。
0:52:28	もしイメージがあったとして、
0:52:33	一番近いところは、いや、結構、
0:52:36	ものとしては確実にあるのはあるわけですよ。そういう元データをきっちりそろえてとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:45	元の神谷ですけど、それも元となるものとしてはすべてあるわけですね その検査の時でも金庫はたくさん並べて、それをすべてをご確認いただ いてるわけじゃないんですけど、それはあるわけなんです。
0:52:59	うん。
0:53:00	あるわけです。
0:53:02	だけどノセがこだわって変遷とかっていうところを比較するのとかか紐 づけして1個1個の変わってる場所を一つの紙に落としてやっていくの かどうかっていうことになると、
0:53:14	そういう形に今してないので、今日からの作業になりますので、その イメージが今、
0:53:23	できる。
0:53:25	こっちがここでこっからここが変わるのに、どう、何で変わったのか知 らないんだよそんなもんですよね。
0:53:33	何で変わったんじゃないかってこっちは、
0:53:37	先ほどですね、小杉坂。
0:53:40	斉藤ですけども、先、あと一昨年6月6年比較表の話ございました ね。あんなふうにすべてのデータをまとめるというと、膨大な作業によ って、ちょっとそれはちょっと難しいので先ほどちょっとわからへん性 ってというのは、訂正編成もいるんだけど、
0:53:55	だからね、じゃあ3回変わってましたという時に1回目2回目、
0:54:00	のところは、こう書いてあったのがこう変わりましただけでいいんで、 何で変わったのかまで知らない。
0:54:05	だって、今あるのが一次データと比較をして、問題がないってことを確 認してるわけだから、そこがどう変わったかって思うんです。今今今に なってみれば、
0:54:16	理がどうでもいいですよ。
0:54:18	新しい品証体系化てきちんとしたものを作り込んだものがありますって いうのをまずきちんと説明してもらって、
0:54:25	その上で、等で、この部分についてはこういう変遷をしてるけれども 今は正しいんですわという説明なんですよ。
0:54:34	それから前の時に1回目と今回のやつを含めて3回変わったとすると、
0:54:43	今のやつはちゃんとできてます市田と遜色ないですってという説明をした 上で、その上でこの部分

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:51	数値から数値なり、渥美内はいろいろあると思うんだけどこれについては、こういう変遷で、減ってるけれども、今のでいいんですっていう説明
0:55:00	で何で変わったのかって1回目2回目ってのはそこはもう、
0:55:04	通ってもしょうがないからさ。
0:55:11	あれ、やっぱ、すいません。だから、最終形がちゃんとできてればその土地は多分変更の理由はどうであれ、変更履歴が追えるような形になってれば、
0:55:21	最終形が、
0:55:23	生だったらそれで良いてそういうことです。だから言ったように、前の資料が使えないんですっていうことを明確にしときたいんです。いつの資料ではこう書いてるじゃないかって話が起こったときに、いやいやそれはもう平成として出して行って、
0:55:36	これが正しいってことは、ちゃんと説明して、
0:55:40	C R C一次データと遜色がないこともきちんと、資料として出している
0:55:46	ので、
0:55:46	こっち見ないでね、こっちを見てもしょうがないですよ。
0:55:49	これ審査に使うのが、今出てきたものを整理あるものです。
0:55:55	と暗にいえるように作って欲しい。
0:55:58	そこまで説明する必要ないんだけど、
0:56:01	でも絶対反対の人たちからも、マイクを書いてあったのでおかしいじゃないかって言われて、もう、それ、そう何で変わったのっていうところについて、突き詰めたってあんまり意味がなくて、
0:56:13	今のデータがきちんと一時観察データなり、
0:56:17	他の完成となり、
0:56:19	に基づいてきちんとした判断をしたものであって、
0:56:24	ちゃんと上書きされてないものですよねってことさえ説明できればいいんですね、結論としては。
0:56:40	どれぐらい時間かかるかっていうのはこの場でちょっとなかなか即答というのも難しいと思いますんで、私ども記者してですね、その中身、これで今のご趣旨に合ってるかと確認した上で、
0:56:53	ちょっとご回答させていただくということでもよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:57	規制庁の相田ですけども。だからすぐ答えられないと思うので、そこは1回持ち帰ってどのくらいのすきスケジュール感なのかっていうのは、検討していただいて、とは言いつつも、
0:57:08	再開しますと言って、
0:57:10	年に1回もやりませんとわけにもいかないなので、
0:57:14	その中でできる範囲はこのあたりだからここはまた別途分けてやりますというスケジュール感出すでもいいですし、
0:57:21	ちょっと年内に1回審査会合を開く、その前に事実確認としてのヒアリング1回か2回、
0:57:27	分量によるけど2回はいるかなって感じがするんだけど、結構量ありそうだから、
0:57:33	を考えた上で、
0:57:34	年内に開く1回、こういう形でもってこう変わっていますっていうのを1回開けているような形で、
0:57:42	分割しないとできないってそれでも構わないのでそのスケジュール化も含めて出してもらおう。
0:57:52	承知しました。それではそういった形で、回答させていただきますので、よろしくお願いします。
0:58:02	1回目の支社会合資料としての部分はよろしい。
0:58:07	で、あとは、2回目以降の実際の審査入ってという話のときの資料の作成として、ちょっとちゃんとやっという欲しいのが、CEO会議、現在さんは、
0:58:19	まだやってないけど、信用会議を受けた上で審査の
0:58:23	プロセスの改善という形で、当審査会もいっぱいなる。集落しこれ議論するために、結果が出てからじゃなくて議論したことがあればいいですよなって話で解析しましょうって話をしてる中で、特に、
0:58:37	地震津波関係については資料をまずちゃんと作り込んでくださいという話を書いてあると思うんで、
0:58:43	そこはまず、どこが出てきているのかわかんないけどその資料の作りこみはもう始めといてください、論理構成がフローでわかるようなもの。
0:58:53	お示し、まず最初に示すとともに、それぞれそのフローの中で、どういう事実、データをどこに使っているのかってのがわかるような形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:02	農業構成を指示、論理構成がきちんとしていて、それを支持するデータがちゃんとそろっているんですっていうことがわかるようなものをまずつけてもらった上で、
0:59:12	ここの説明という形にしてもらいたいと思ってるので、そこの作り込みをもう始めといてください。
0:59:24	それって真面目に作ろうと思うと結構時間かかる。
0:59:27	強いと思うので、
0:59:33	刀禰だから、いわゆるデータいっぱいありますどうでしょうってのは駄目よと。
0:59:39	事業者さんが基準に適合しているという判断をするに至るフローはどんな。論理構成はどうなってんですかと。その論理構成を支えるための科学的事実データってのは十分そろってるんですか。
0:59:51	というのをまずわかるような資料にしてくださいと。
0:59:54	審査資料いっぱいどうつけてくる会社さんもいっぱいいるけど、それだと、論理構成どうなってんですかとその論理構成の元となるデータどれですかっていうのを、
1:00:04	数字数百ページの新しいいろんなから拾い出して、確認する。
1:00:09	本やれば、それは無駄になるので、
1:00:14	作業量が膨大になってしまってどんどんどんどん遅れていく結果になるのでそこは事業者さんがまずは努力していただきたいということなので、そこはまずよろしくお願いします。
1:00:25	懸命のカミヤですけど、9月7日の日からということだと思んですけども、
1:00:32	文字づらだけをですねちょっと恐縮読むとその基準に適合すると判断した論理構成のっていう一番大枠、
1:00:39	に関して、書いてあるように読めてしまうんですけど、最終ゴールはそうだとしても、それをブレイクした審査の項目がいくつかあってと。
1:00:50	で、それを、その一つをこなすために、何ていうんじゃない。中項目の論点としてこれがありますと。
1:00:57	です。そういうふうな、わかるようなこの論点に対してこういう論理構成こういうフローですと、そこでこういうデータ使ってますっていうような、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:05	全体像もいるんでしょうけど、金、あと、次の審査からご説明する資料はこれだからこの論理コースがこういう形になってますっていう形で、
1:01:16	そういう理解でよろしいんでしょうか。アクチュアルそうです。だから端的に言うと、断層の活動性やろうとしたときに、最後に 4.7、上載層があるんだとすると、上載層が十二、三万年より古いものです。
1:01:31	という結論に至るためにどういう論理構成なんですか。
1:01:34	どういう調査をしてとられたんですか。
1:01:36	ただね、これ辞さまでよりも古いものだと判断しました。それを、それをその論理構成を支持するデータってのは、観察事実だけそういうものはどこにどういうものを使ってるんですか。
1:01:52	ということ、だからそのテーマテーマごとにね、きちんと論理としてしっかり、
1:01:56	書いて、どこに、それはこのデータに基づくんですっていうのをしっかりとして欲しい。
1:02:02	それでそれをす。だからね、今までも、皆さんもそうだけど、こうなんだけれどもこれは、この結果を支持するための、
1:02:12	プラスアルファデータですっていうのもある話じゃないですか。それがいっぱいある中で、どういう位置付けなのかわかんない資料になっちゃってる場合が多いので、そういうのも含めてちゃんとリップ整理してどこにどういうデータ使ってるのかっていうのを明確にして欲しいっていうことで、
1:02:29	はい、その限界です。わかりました。
1:02:33	はい。
1:02:35	現在齋藤ですけれども、私どもですね先ほど来ちょっとお話ありましたように、何系断層の連続性ですね、それ以前から、それを最初に審査されますというふうになったので、
1:02:49	それについて資料準備して参りましたけれども、その中で、やはり K 断層の連続性の評価フローであるとか、或いはその中で、私どもですね
1:03:00	カタクレーサイトなのか断層会社のいわゆる断層が区分のための評価フローだとか、そういった形になるところは、今ですね資料 2、
1:03:11	フローとして起こして整理しているところです。さらに今日のご指摘、ご意見ですね踏まえまして、戻りまして、またそういったことがちゃんとできてるかどうかに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:23	先ほどおっしゃったように、そのフローとですね、データがきちんと紐づいて、説明できるようになってるかどうかというところを踏まえて、きちっと確認した上で、
1:03:32	2回目以降ですか。新最初の審査会合以降の、に備えて準備したいと思います。はい。
1:03:44	うん。1本のフローでまとめるの大変だと思うからサブフローとして飛ばすとかね、いろいろ工夫してもらったらいいと思うんだけど。
1:03:51	そういう形でどういう論理構成の全体ノンリコースでどうなっていて、その中で今回説明するところのフローはここなんです。
1:03:58	でもいいしね、ちゃんと説明資料がどういう構成で成田考え方の元データになって、
1:04:05	どういうことを説明しようとしてるのかってことと、そのためのデータってのは、ここに使ってるデータなんです。
1:04:12	ていうのをわかるようにして欲しいっていうことですね。資料見て探すの。
1:04:19	だけで、多分こうじゃねえかとかいう話で、ものすごい時間食ってるので、そこはちょっとお互いに手間もかかるんだけど、よりちゃんとした議論するためには必要なプロセスだろうということで考えてます。
1:04:35	はい、承知いたしました。
1:04:47	あ、規制庁、野田です。私特にはないですけど、規制庁側から何かありますか。
1:04:53	ぐらいでスケジュールか。
1:04:55	持ち帰って、
1:05:01	スケジュール、質問なんですけど、スケジュールか、ちょっと持ち帰っていただいて、またご連絡いただければと思います。
1:05:10	一方、
1:05:11	日本原電の方から何かございますか。
1:05:16	ナイトウですけど、明確に残すために、もう一度繰り返しますけど、今回スケジュール、どのぐらいなるかっての持ち帰って検討しなきゃいけない。わからないってことで持ち帰っていただくんですけど、じゃあどのぐらいの時に、じゃあどのぐらいのものが出せるのか。
1:05:32	そうなのかということについては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:34	なるべく早く教えていただきたいというのは我々も年末に向けてのすけ審査会合スケジュールリングをいろいろやっていかなきゃいけないですし、
1:05:45	どのぐらいのスケジュール感で考えていくのかっていうところをやっておかないとはめ込みがなかなか難しくなってきますんで、ちょっと、
1:05:53	どのぐらいだと大体どのぐらいの、どのぐらいの期間を、今日持ち帰って検討して、どのぐらいの期間あれば大体どのぐらいの時期までにどんなものが出せそうだったというお答えができそうなのかっていうその辺の、
1:06:07	最初の回答としての部分がいつごろなりそうなのかということだけちょっと教えていただければと思うんですけども。
1:06:17	いやだから、まず1週間なり10日でもいいんだけど、2週間でもいいんだけど、仮仮置していただいてそこ、その時点できてきたところまで説明しましてもいいし、
1:06:28	いや、まだ検討できてないから、その時点での状況だけを説明しますっってもいいんだけど、
1:06:34	ちょっと、
1:06:37	全然の作業がどういう状況なってるのかってのが見えないとうちもスケジュールリングしづらくなっちゃうんで、ちょっとそこの考え方だけちょっと教えていただければ。
1:06:53	辨野百瀬です。まず1週間考えて、その時点で、
1:07:01	お伝えしたいと思う。
1:07:05	山崎氏、
1:07:09	西井カゴメ免田を組む。
1:07:13	動かした方がいいよね。
1:07:17	じゃあ、1週間後でちょっとスケジュール事務的に調整して、面談セットしてこういう形でもって、現状こういうことを考えてますっていう、面談を組むようにしましょう。
1:07:30	1ノダですけど、その時に、スケジュール、スケジュール、あと、今日、我々の方から、その一次データとの比較とか、あとは、変更の履歴っていう話をさしていただいたんですけど、
1:07:43	それは何かこう、もし、
1:07:47	何ですかね、雛形というか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:50	認識合わせが必要であれば、その時に何かサンプルでお持ちいただいた方が、
1:07:56	作業の携帯電話が避けられるんじゃないかと思えますんで、ちょっとご検討いただければ
1:08:06	現在の清です。承知しました。
1:08:15	よろしいですか。
1:08:17	特になければこれで、
1:08:19	面談を終わりにしたいと思いますが、よろしいですか。
1:08:24	はい。それでは本日の面談をこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。
1:08:29	ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。